

別紙 1 画像診断システム要求仕様書

要求仕様							必須
0						非機能要件	
0	6					運用・保守要件	
0	6	1				システム検収と保守の開始	
0	6	1	1			本システムは、2025年5月1日午前0時より稼働すること。また、2025年5月31日までに発見された不具合については、本契約において対応すること。	○
0	6	1	2			システム保守業務は、稼働から7年間実施すること。	○
0	6	1	3			受託者は、当センター職員及び当センターが別途委託するシステム運用要員と情報を共有し、連携体制を確立してシステムの安定稼働を維持すること。	○
0	6	2				基本要件及び障害対応	
0	6	2	1			システムは24時間365日連続運転ができる設計とすること。また、特段の事情がない限り、ノンオペレーションで運用が続けられるシステムとすること。	○
0	6	2	2			夜間や休日に障害が発生した場合でも迅速かつ、的確な対応ができるよう、障害箇所の特定が容易に行える仕組みとすること。また、受託者が調達するサーバ関連機器は、24時間体制で緊急対応ができる機器を採用すること。	○
0	6	2	3			受託者が調達する全てのシステムで、そのサーバの稼働状況を一元的に把握できるよう、各種の監視機能やログ収集機能を備えるとともに、警告や障害に関して自動的に検出する機能、及びパトランプや電子メール等による通知機能等を用意すること。なお、これらの構築にかかる一切の費用は受託者の負担とするため、導入経費の見積に含めること。	○
0	6	2	4			運用、保守工程においても利用できるよう、各種のドキュメントについては、作成する前に必ずその体裁や様式、ファイル形式、記載内容等について当センターと協議すること。	○
0	6	2	5			システム稼働後 1 週間を目途に安定稼働するまでは、S E 現場立ち会い及びオンコール体制を確保すること。	○
0	6	2	6			システム稼働後も、可能な限り定期的に機能の修正およびバージョンアップ、データベースのチューニングを行い、いつでも最新の状態にして、陳腐化しないシステムとすること。	○
0	6	2	7			受託者のシステムを利用している他のユーザからの意見をくみ上げ、定期的にシステム機能更新に反映できる仕組みを有していること。	○

別紙 1 画像診断システム要求仕様書

要求仕様							必須
0	6	2	8			システムのプログラム変更に際して、当センター業務に極力支障を来さないよう配慮するとともに、変更内容について十分な説明を行い、事前に文書にて当センターへ報告し了承を得てから作業を実施すること。	○
0	6	3				保守要件	
0	6	3	1			構築作業の期間中において、受託者が当センターの指定する場所を使用する什器や備品、また必要な通信環境に関しては受託者が用意すること。作業場所における机、椅子等の備品については当センターが準備するものとする。持ち込み品の可否や設置場所等の詳細については、この事前協議を行い当センターの承認を得ること。	○
0	6	3	2			毎年4月に実施される医療法改正、診療報酬改正によりプログラムやマスタ等のシステム変更が必要となる場合は速やかに対応し、改正施行前にシステムの変更を完了すること。なお、変更の際には、プログラムデータの日付設定等により、自動的に作動する状態にすること。前述の改正時に必要となる費用は全て保守費用に含めること。	○
0	6	3	3			リモートメンテナンスによる外部からの操作及び診断ができるシステムとすること。なお、リモートメンテナンスを行う場合、その対象や実施条件、運用方法等の詳細は別途協議対象とするが、それを前提としても支障がないようにしておくこと。	○
0	6	3	4			ネットワーク機器のOSアップデート、サーバのファームウェアアップデート等、IoT機器のセキュリティ上重要なアップデートは必要なタイミングで受託者が責任をもって実施すること。また、アップデートが困難な場合に代替措置を講じる方法を検討し、運用すること。	○
0	6	3	5			サーバ等、主要なハードウェアについては、以下の項目を含んだ定期点検を実施すること。なおその際、実施時期は別途協議とするが、原則としてシステムは無停止で行うこととし、診療サービスそのものは継続できるようにすること。	
0	6	3	5	1		各種ツールによる診断	○
0	6	3	5	2		ローカルに保存されたログ等の収集及び解析	○
0	6	3	6			定期点検の結果の報告と、その結果に伴う不良物品の交換等の措置については、必ず受託者が責任をもって実施すること。	○
0	6	4				運用要件	
0	6	4	1			受託者は参照用、またはバックアップ用サーバを設置して、データを保管すること。	○
0	6	4	2			リカバリ要件として以下の要件を満たすこと。	
0	6	4	2	1		障害等の発生によって、データをリストアする必要がある場合に、参照、またはバックアップサーバのデータベースが活用できること。	○

別紙1 画像診断システム要求仕様書

要求仕様							必須
0	6	4	2	2		参照、またはバックアップサーバからのデータのリカバリ、及びリストア等に関して、稼動前に正常稼働を確認すること。	○
0	6	4	2	3		参照、またはバックアップサーバからのリカバリ及びリストアに関する手順が明確かつ、単純になるようにし、マニュアルに沿って容易に実施できる仕組みとすること。	○
0	6	4	3			その他保管等は以下の要件を満たすこと。	
0	6	4	3	1		データの保存期間については、システムの特性や各種の法令、規程等を遵守の上、適切な期間を設定できる仕組みとすること。	○
0	6	5				保守業務	
0	6	5	1			保守業務の実施にあたっては、作業概要、実施体制、実施スケジュール（タイミング等）を記載した保守業務マニュアルを作成し、当センターの承認を得た上で、納入すること。	○
0	6	5	2			保守業務の作業内容は以下の通り想定している。 ・ハードウェア維持管理（仮想化基盤を含む） ・ミドルウェア維持管理 ・ソフトウェア維持管理 ・アプリケーション維持管理（医療法改正やその他法律改正等に伴うアプリケーションの変更、定期的なバージョンアップ） ・障害対応 ・問合せ対応	○
0	6	5	3			導入したハードウェア、ミドルウェア、ソフトウェア、アプリケーションについては、導入した製品一覧をそれぞれ作成し、メンテナンスの実施状況も記載の上、管理すること。また、一定周期で当センターに実施状況を報告すること。報告周期については、別途協議とする。	○
0	6	5	4			必要に応じ、サーバ等のセキュリティ等のパッチの適用とその検証作業を実施すること。	○
0	6	5	5			障害対応については、以下の要件を満たすこと。	
0	6	5	5	1		システム障害に係る連絡先窓口は可能な限り一本化すること。	○
0	6	5	5	2		システム運用中に障害が発生して、通常の使用ができなくなった場合、自らの検知の他、運用オペレータからの通報や当センターからの連絡により、必要に応じて作業員が設置場所に出向いて修理を行うこと。なお、各種サーバ及びサーバのミドルウェア・ソフトウェアについては、24時間365日の対応をすること。	○
0	6	5	5	3		障害が発生した場合、当センター業務に支障をきたす場合は、事象、想定原因、対応方法、当センター側でのシステム面での対応事項をとりまとめて速やかに医療システム係に報告の上、了承を得ること。	○

別紙1 画像診断システム要求仕様書

要求仕様							必須
0	6	5	5	4		電子カルテシステムや他部門システムとの間で障害の所在が不明な場合であっても、当該システム担当者等と協力して障害原因の切り分けを行うこと。	○
0	6	5	5	5		電気、空調等の設備障害、接続している当センターでの調達システムの連携障害等、本業務に含まれるシステム以外が原因であると考えられる障害においても、システムの緊急措置を行い、関係者との連携を密にして障害解決に当たること。	○
0	6	5	5	6		業務への支障を考慮し、時間外においても一次報告を行える環境（メーリングリスト等）を整えること。また、業務への支障を考慮し、システムの停止時間が120分以上にならないよう障害復旧、応急対応等を講じること。	○
0	6	5	5	7		当センター側の誤操作による障害時の回復作業、及び原因不明時の回復作業についても支援すること。	○
0	6	5	5	8		システム復旧後、速やかに原因を究明し、再発防止及び対応策を医療システム係に文書にて報告すること。	○
0	6	5	5	9		発生した障害は障害管理表を使用して管理し、一定期間毎に障害発生状況を医療システム係に報告すること。	○
0	6	5	6			問合せ対応については、以下の要件を満たすこと。	
0	6	5	6	1		当センター側のシステム運用業務を支援すること。	○
0	6	5	6	2		保守業務の詳細については、保守業務実施計画書作成時に当センターと協議すること。	○
0	6	5	6	3		障害等の原因によって、ハードウェア、ミドルウェア、ソフトウェア、アプリケーションに変更が発生した場合、変更日時、対応者、変更内容、変更要因、影響範囲等の内容を変更管理簿に使用して管理すること。また、一定期間毎に変更の発生状況を担当部署に報告すること。	○
0	6	5	6	4		障害等の原因によって、アプリケーションをリリースした場合、リリース管理簿を使用してリリース日時、対応者、リリース内容、影響範囲等を管理すること。また、一定期間毎にリリースの発生状況を担当部署に報告すること。	○
0	6	5	6	5		変更が発生した場合は、変更内容について報告すること。	○

別紙1 画像診断システム要求仕様書

要求仕様							必須
0	6	5	6	6		他病院で発生したトラブル事例が整理されており、トラブル発生時には各拠点に通知し、同様のトラブルの発生を防止する体制が受託者にて整備されていること。	○
0	6	5	6	7		保守作業員は当センター施設内の出入りに際し、身分証の提示又は名札を常時着用すること。	○
0	6	5	6	8		受託者の責任において、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン（第6.0版）」における考え方、最低限のガイドライン、推奨されるガイドラインの内容を保守作業員に遵守させること。	○
0	6	5	6	9		不適切なソフトウェアによる情報の破壊等を発生させないために、受託者はソフトウェア、機器、媒体の管理を適切に行うこと。	○
0	6	5	6	10		システム管理室及びサーバールームへの記憶媒体の持ち込みと持ち出しは、原則禁止し、やむを得ずに行わなければならない場合は、事前に当センターの承認を得ること。	○